



平成29年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

小規模多機能ホームおあしす重久

霧島市国分重久411番地3

電話 0995-48-5866

FAX 0995-48-5877

メールアドレス sigehisa@medicorp.co.jp

平成30年3月29日

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・・・・・（地②—1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 8 日 (19 : 00～21 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	7人	6人	0人	0人	13人

前回の改善計画
利用開始前は、職員連絡帳やミーティングを通して情報共有を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果
業務に入る前に職員連絡帳を見たり、ミーティング等にて情報収集している。不明な点は管理者などに確認しており、利用者様を知った上で業務に従事している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	9	0	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	11	0	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	8	0	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	11	0	0	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①利用開始前は、ミーティングや職員連絡帳にてサービスに必要な情報やニーズを共有している。
②本人、家族の意向にズレがあることもあるが、専門的判断を踏まえ、ご家族や地域資源等を活用しながら必要なサービスを提供している。
③利用開始時の利用者様は不安や警戒心があることを前提として接し、少しでも軽減できるようにコミュニケーションを多くしたり、表情や席など配慮している。
④送迎時や面会時、連絡帳を通してご家族にホームでの様子を報告したり、ご自宅の様子を聞いたりして関係作りに努めている。ミーティングなどでも情報を発言している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①実際に関わってみると事前情報等が異なっていることもあり、困惑することもある。
④ご家族が遠方におられたり、就労などで中々お会いできない家族もあり、全利用者様のご家族との関係づくりはできていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

①新規利用者様は不安があることに留意し意識してコミュニケーションを多く図り関係構築に努める。
②利用者様を知る努力をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 8 日 (19 : 00～21 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	6人	5人	1人	13人

前回の改善計画
日々の関わりで得た利用者様の「～したい」は関わった職員が確実に記録に残す。口頭申し送り等があった場合は、互いに記録の声かけを行う

前回の改善計画に対する取組み結果
日々の関わりで、利用者様の「～したい」を引き出せるように意識している。「～したい」を発見しても記録に残っておらず口頭申し送りに留まることも多かった。
利用者様の「～したい」を聞けるように、声のかけ方や雰囲気作りを心がけた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	7	4	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7	5	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	6	4	1	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	6	4	1	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①利用者様の目標はケアプランやミーティングなどで概ね分かっている。
②日々のかかわりで想いを引き出すように心がけており、ミーティング等にて共有もできている。
③「～したい」の実現や継続ができるように自立支援を心がけている。
④日々の関わりの中で利用者様の声に耳を傾け、報告をするとともにミーティング等で発言している。また、成功事例や喜ばれたこと、失敗事例もミーティングで振り返り共有できている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
②「～したい」の実現は比較的、自分の想いを発信できる方が多く、発語のない方への「～したい」の発見や関わりが難しい。
②③利用者の「～したい」を、引き出せても、どんな想いがあるのか、どこで誰としたいのか、どのようにしたいのか等の記録が残せていない。また日常の些細な関わりの中に「～したい」があるものだが、引き出しても想いの言語化ができていないため、実践に繋がらないケースもある。
④ミーティング等で話が出てその時だけで終わることもあり、次の対応ができないこともある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
日々の関わりで得た利用者様の「～したい」は関わった職員が確実に記録に残す。口頭申し送り等があった場合は、互いに記録の声かけを行う

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 1 月 8 日 (19 : 00～21 : 00)
3. 日常生活の支援	メンバー	13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	8 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画	職員全員が利用者様の「以前の暮らし」を 5 個以上把握する
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始時やミーティング等で情報収集したり、日々の関わりにおいて把握するよう努めており、全利用者様ではないが、概ね「以前の暮らし」を 5 個以上把握できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	2	7	4	0	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	7	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	10	0	0	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	6	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	7	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①利用者様やご家族などからも「以前の暮らし」について意識して情報収集している。あまり会う機会がない方は、ミーティングや台帳などを見て情報収集・共有している。</p> <p>②食事 (量・形態・調理法など)、入浴 (体調、皮膚の状態の観察)、排泄等は漫然・画一とはならず本人の状況に合わせて適切なケアを提供している。</p> <p>③表情や行動などから利用者様の思いなどスタッフ間で随時話し合いケアに繋げている</p> <p>④申送り帳や日々の申送りなどで変化については随時共有している。原因追求や共有も心がけている。</p> <p>⑤気持ちの変化は、気づいた時点でケアを行っている。ご家族の協力を得る場合もある。体調変化については専門職から助言をもらったり、主治医へ相談等臨機応変に対応している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①日々の関わりで新たに見聴きした思いや声、仕草が記録に残っていないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>①利用者様の「以前の暮らし」を 7 個以上把握する。</p> <p>②日々の関わりで得た新たな情報は記録に残す。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 1 月 8 日 (19 : 00～21 : 00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	4 人	4 人	4 人	13 人

前回の改善計画	<p>①必要に応じて利用者様及び家族の同意の上、住んでいる地区の民生委員や関わっている方々に挨拶に行く。</p> <p>②地域との関わり（知人、友人、関係者、大切な人、行事等）についてもしっかりと情報収集し、随時記録を残し、更新していく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>①必要と思われる利用者様へ民生委員との関わりをもつことができたが、全員ではなかった。</p> <p>②日々の関わりにより、利用者様の持っているネットワークを引き出すように努め、ミーティング等にて共有できたが、少数の利用者様に留まった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	10	2	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	11	1	0	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	7	5	0	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	4	3	4	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①本人やご家族から話を聞いたりして理解に努めている。またミーティング等で情報共有が図れている。</p> <p>②サービス利用によりご家族や地域との関係が途切れないように役割を明確にしている。なじみの店（美容室など）の利用や地域の運動会・夏祭りに参加している。できる限りその方の地域で活動・交流を意識している。</p> <p>③日々のコミュニケーションにより理解するように努めている。受診日や行事ごとなどは自宅カレンダーに記入している。関わっていない時間の食事、排泄を中心に趣味活動等にも目を向け日々の暮らしができる限り充実できるようなケアマネジメントを意識し行っている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①③自分自身が利用者様の地域に出向くことがないため、地域との関係を把握できていない。</p> <p>④民生委員と連絡をとっている利用者様もいるがそうでない方のほうが多い。それぞれの培ってきた地域での暮らし方があるため全ての利用者様に対し地域資源の活用や民生委員との関わりが必要とは思わないが、途切れた関係の結びなおしやいつでも繋げられるように把握しておくことは必要だと考える。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>①地域との関わり（知人、友人、関係者、大切な人、行事等）についてもしっかりと情報収集し、随時記録を残し、更新していく。</p> <p>②送迎や訪問、その他の機会などで、地域の方々とお会いした時は挨拶等交流を図る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 1 月 8 日 (19 : 00～21 : 00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	5 人	3 人	2 人	13 人

前回の改善計画	利用者様や家族から話を聞いたり、ミーティングなどで、本人を取り巻く資源（人や場所、物）を知りマップ化する。（目標 5 名）
前回の改善計画に対する取組み結果	特に必要と認めた方へは、利用者様、ご家族、地域の方々、ミーティング等で集めた情報でマップ化を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	9	1	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	6	0	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	6	7	0	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	7	1	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①利用者様や家族の状態に応じて柔軟に必要なサービス提供ができている。その他にも利用者様に応じて訪問看護や福祉用具業者、配食サービス、近隣住民、福祉生活アドバイザー、民生委員等と連携を図り、利用者様をお支えしている。</p> <p>③悪い変化だけでなく、良い変化もミーティング等で共有し、次のステップに進むようにしている。</p> <p>④その日、その時の本人、家族の状態・ニーズに合わせて柔軟に臨機応変に支援を行えている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①事業所がある地区以外の地域資源の把握はできていない。</p> <p>②本人、家族の意向やアセスメントにもとづいて概ね適切な量を提供できていると思われるが、もう少し、家族や地域の力を引き出せばよいと感じる利用者様もいる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>・利用者様や家族、関わる方々から話を聴き、本人を取り巻く資源（人や場所、物）を知りマップ化する。（目標 7 名）</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 1 月 8 日 (19 : 00～21 : 00)
------------------	-----	-----------------------------------

6. 連携・協働	メンバー	13 人
----------	------	------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	3 人	6 人	4 人	13 人

前回の改善計画	勤務を調整し、できる限り職員がサービス担当者会議や地域の会議等に参加できるようにする。
---------	---

前回の改善計画に対する取組み結果	担当者会議は、自宅で開催されるケースがほとんどであり、体制的に職員参加は難しかった。職員にも参加していただくこともあるが、聴き取り及び記録参照がほとんどだった。地域の会議においては、機会も多くはなく、事業所の判断を求められることから管理者が出席していた。
------------------	---

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	5	6	2	0	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	1	0	10	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	8	3	0	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	6	5	2	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①訪問看護や福祉用具業者等を交えた会議は定期的で開催しており、協力して利用者様をお支えしている。</p> <p>③自治会に加入しており、総会や夏祭り実行委員会等に参加している。また、地域行事には利用者様と一緒に参加している。</p> <p>④行事の時など重久保育園の園児達が慰問に来てくださり世代間交流を図るようになった。また自主サロン活動を定期開催しており、地域の高齢者が毎月平均 20 名程度訪れる。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>① ①でいう会議には、自宅で開催されるケースがほとんどであり、計画作成担当者が開催している。体制的に職員参加は難しいこともある。職員も参加することもあるが、聴き取り及び記録参照が多い。</p> <p>②会議が開催される場合、事業所としての判断が必要なケースを伴うことも多々あるため、管理者やライフサポートワーカーが参加するのが望ましいが、会議があることやその内容等の共有は必要であると思う。</p> <p>③事業所がある地域以外の行事やイベントなどへの参加はほぼない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
事業所がある地域以外に住んでいる利用者様に対しても、大切にしていた地域行事や活動を聞き、その情報収集を行い参加できるように支援する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 8 日 (19 : 00～21 : 00)

7. 運営

メンバー 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	6 人	1 人	4 人	13 人

前回の改善計画	運営推進会議や地域の会合で出た地域の意見等を事業所の会議等で話し、職員へ周知、共有を図る、
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議の報告書は誰でも閲覧できるように玄関に設置してある。特記以外は職員への内容の報告等を行っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	4	5	1	3	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	6	1	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	4	2	3	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	4	4	1	4	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①意見を言いやすい環境であり、積極的な発言はできている。また、気になることはその都度管理者に報告等を行えている。ミーティング時などで業務改善など話し合い、チーム全体で良い事業所作りに取り組んでいる。 ②利用者様、家族からの意見や苦情は、職員で共有しすぐに対応している。対応できないことについては管理者が利用者様及びご家族に説明を行っている。 ③運営推進会議で毎回、地域に苦情等が寄せられていないか確認を行っている。 ④地域のひろば事業には参加していないが自主サロン活動おあしす倶楽部を定期開催し地域住民との繋がりをもっている。サロン活動時は地域の方へ講師を依頼することも多い。地域住民が気軽に立ち寄れるように入りやすい環境作りを心がけている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①自らの意見を言えない職員がいることも事実であり、配慮が必要と思うができていなかった。 ③運営推進会議での意見ですぐに対応できることはしているが、ハード面 (看板の設置、AED購入) については対応できていない。法人や行政等への相談は行っている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
①自主サロン活動「おあしす倶楽部」定期開催する ②ミーティング時又は個別でも勇気を出して自分の意見をしっかりと伝える	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 8 日 (19 : 00～21 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	7 人	3 人	1 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・職場内研修は全員が参加できるように複数回実施し、事業所全体の質の向上に努める。 ・リスクマネジメントについて理解を深め、全職員で事故の予防に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・職場内研修は毎月行っているが資料配布及び要点説明に留まり複数回実施できていない。 ・ヒヤリハットについて意識が高まっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	5	3	1	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	5	2	2	13
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	0	11	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	5	2	2	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①②職場内研修はミーティング時に行っており、参加するようにしている。職場外研修にも積極的に参加しており、研修に参加した職員はミーティング等で研修報告を行ったり、勉強会を開催したりして学んだことを共有している。</p> <p>④ヒヤリハットや事故報告等全職員で取り組んでいる。事故発生時はミーティング等で再発防止にむけて予防策を検討している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①職場内研修はミーティング等で行われているが、欠席等により参加できないこともある。職場外研修は正規職員のみ参加に留まっている。</p> <p>③地域連絡会は機会がそう多くなく参加者は極少数となっている。</p> <p>④リスクマネジメントについて徐々に意識が高まっているが、さらなる意識向上が必要。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ヒヤリハットへの意識をさらに高め、互いに声をかけあいながら発見者が記録を書く	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 8 日 (19 : 00～21 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	4 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画

- ①身体拘束のない介護について考える
- ②権利擁護の勉強会を開催する

前回の改善計画に対する取組み結果

- ①2ヶ月に1回身体拘束廃止委員会を開催し、身体拘束にあたる行為がないかを確認するとともに定期的に勉強会を開催し、身体拘束のない介護について考えている。
- ②権利擁護の勉強会は平成29年3月に行い、ミーティング等でも権利擁護について常に考えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	13	0	0	0	13
②	虐待は行われていない	13	0	0	0	13
③	プライバシーが守られている	6	6	1	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	4	0	7	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	8	0	0	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ①②身体拘束、虐待は行われていない。定期的に勉強会を開催し身体拘束のない介護について考えている。
- ③利用者様が恥ずかしい想いをしないように、トイレの声かけはさりげなく行っている。また、パット、リハビリパンツなども他者に見られないように隠して持ち運ぶようにしている。
- ④勉強会により権利擁護の理解ができているため、日々の業務の中でも意識できている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ①スピーチロックにあたる「ちょっと待って」等がついつい出そうになることがある。
- ③トイレのお声かけの際、つい声を出してしまう時がありプライバシーへの配慮が欠けていることがある。
- ④勉強会等で学んではいるが、今の所は成年後見制度を必要としている利用者様がない
- ⑤個人情報保護には留意しているが、時々記録等がテーブル上に置いてあり他者が閲覧できる状態となっていることがある。記録中に急に呼ばれたりするとそのままの状態での場所を離れることがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ①トイレのお声かけ (パット類持ち運び含む) は他者に知られないように配慮し、利用者様に恥ずかしい思いをさせない。
- ②利用者様の個人情報が記載されているケア記録等は、記録する時以外は所定の棚にしまっておく。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6	0	3
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	6	0	3
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	6	0	3
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6	0	3

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・月2回貴重な時間を使って会議をしているとは思わなかった。ありがたいです
- ・日々スタッフの皆様が色々と考えてやってくれている。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見
自己評価、事業所評価は常勤職員全員で取り組む。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

自己評価・事業所評価にてできていない点が少しでも改善できるように取り組む

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8	0	1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6	0	3
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	9	0	0
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	9	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	9	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・特別事業所に入りにくいと感じることはない。
- ・大晦日の鍋会に招いてもらった。歌を歌ったりもしてとても楽しく過ごさせてもらった。こんな風に普段から出入しているが、職員も対応は良く居心地はいいと思う。
- ・事業所の前は道が狭いからどうしようもないが、門の前に車が停まっていたり通れずに迂回したことがある。公用車ではなかった。業者さんかもしれない。
- ・来たらお茶を一杯飲んで、血圧を測ってもらったり、脳リハをしたり、体操をしたりと充実している。

【前回の改善計画】

- ・運営推進会議やその他の機会で見学の場を設け、事業所を見ていただく。
- ・整理整頓を心がける

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・家内がリハビリ機器の使用により健康になって体調もよくなった。安全面や保険のことととかあると思うが地域の人にも開放したらどうか。
- ・夫婦で利用させてもらって感謝している。

【今回の改善計画】※後日記入

利用者様、ご家族様だけでなく、来客者、業者さんにも元気よく挨拶をする。
事業所の前の公道で車が停車することがないように、敷地内のスペースを空けておく

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	4
1	職員はあいさつできていますか？	9	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	9	0	0
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	9	0	0
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	8	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・高齢者は、自治会長によく相談されている。自治会長が事業所を知っていることが大事だと思う。
- ・周知の手段として、地区の老人会で介護保険の事業所のパンフレット配布を頼まれたことがある。役員会は、4月に引継ぎ会、6月と10月に班長も交えて合同会議がある。そこで事業所の情宣活動ができるかもしれない。
- ・職員はみんなよく挨拶をしてくれている。よく迎えてくれている。

【前回の改善計画】

事業所やまちかど介護相談所について、地域の集まりなどで宣伝させていただく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・最近、重久団地も高齢化がすすんでいる。心配なことがある。私の住んでいる第一重久団地が東その山公民会から脱退する。脱退したことで市の取組みや情報等が入って来なかったり、協力がもらえなかったりしないか心配だ。
- ・以前、行政より聞いたことがあるが、若い人の自治会加入率が悪いと。自治会加入の魅力等があればいいのだが・・・と言っていた。圏域別会議も毎月あるため、(重久団地の自治会脱退について)心配の声が上がっている旨は報告する。
- ・おあしす倶楽部で花見ツアーなどがあればいい。おあしす倶楽部は、参加者の意見をしっかりと取り入れてくれている。
- ・サロン活動は悩むので参考にさせてもらっている。協力をしてもらったり今後も連携を図っていきたい
- ・民生委員として高齢者宅を訪問する際、おあしす重久の場所はどこか聞かれることがある。場所が分かりにくいと思う。

【改善計画】※後日記入

- ①事業所をより知っていただくために、地域の集まりにて宣伝する。
- ②事業所の場所を分かりやすくするためにできることを追求する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8	0	1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	8	0	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5	0	4
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	9	0	0
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	5	0	4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・色々な所に連れて行ってもらっている。事業所の中に閉じ込めているということはない
- ・地域の行事に参加したり、サロン活動など地域のために様々な取組みをされている。+
- ・おあしす便りも日常がよく分かるように作成されている。

【前回の改善計画】

事業所の広報誌（おあしす便り）や運営推進会議での取り組みの報告は、主に行事のことが中心だったため、日常の様子も知っていただけるように工夫する。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

- ①おあしす便りは、行事、日常の様子が分かるように作成する。
- ②利用者様の住んでいる地域内で一人は協力者を見つける。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8	0	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	9	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	7	0	2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	9	0	0
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	9	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・資料はよくまとめてあって取組みがよく分かる。
- ・運営推進会議で報告だけでなく地域の情報を引き出したりしている。地域のちょっとした話も聞けるからよい会議になっていると思う。

【前回の改善計画】

- ・自治会だけでなく、東その山地区の民生委員にも運営推進会議のお声かけを行い、互いに連携を図れるよう関係構築に努める
- ・地域のお困り事の情報を集め、可能であれば協力させていただく。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・私の息子も介護保険事業所で勤めている。そこでも運営推進会議が行われているが自治会長等の参加がほとんどないと言っていた。
- ・郵便局がお一人暮らしの高齢者の見守りサービスを始めた。運営推進会議でまた案内させていただきたい。民生委員にも知っていてほしい。
- ・事業所のすぐ近くの側溝を直してほしいと行政にお願いしているが中々直らない。利用者様が安全に散歩できるようにしてあげたい。藪も払ってもらえるといい。

【改善計画】※後日記入

- ①運営推進会議に近隣事業所への参加を呼びかける（目標は保育園、児童関連事業所、グループホーム）
- ②新たな自治会役員と関係作りに努め事業所を知っていただく。
- ③体制を整え、運営推進会議にスタッフも交代で参加し、地域の情報交換を行う。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	5
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4	1	4
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	6	0	3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	3	5	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	8	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・消防訓練で消防局から指摘を受けた所は、運営推進会議報告書に記載したらどうか。
- ・非常口の動線はしっかりと確保しておく必要があります。
- ・9月半ば位に地域の防災訓練がある。ご指導をお願いしたい。
- ・防災設備面は良い思う。消防訓練する所を見たことはないから、する時は声をかけてほしい。
- ・事業所は昼間は頼りになるが夜の対応や大地震が起きた時はどうだろうと考えることがある

【前回の改善計画】

事業所の防災訓練に地域の方の参加を呼びかける

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・テレビ、新聞でご存知だと思いが、事業所が火災で利用者が亡くなるケースがある。そこは非常口に物を置いていたり、スプリンクラーが設置していなかったり作動しなかったりすることもあるとのこと。大切な命を預かるのでそこはしっかりと点検等を行ってほしい。
- ・とっさの時は忘れてしまうことが多い。妻屋自治会では夏場は6回位防災訓練を行っている。手順としてはまずは両親を助けるということをやっている。事業所でも年2回は防災訓練を行っているとのことだが、日常の中に防災訓練を取りいれれば、もし火災が起きたとしてもより動けるのではないかな。
- ・災害用ヘルメットは、もっとすぐに使用できる所に置いた方が良いのではないかな。

【改善計画】※後日記入

- ①地域の防災訓練に参加する
- ②事業所の防災訓練に地域の方や近隣のご家族等へ参加・協力を呼びかける。
- ③避難経路上に障害物をおかないようにする。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社メディコープ	代表者	代表取締役 中道 浩二	法人・事業所の特徴	「もうひとつのわが家」と思っていただけよう利用者様を中心に家庭的な雰囲気作りに努めています。利用者様の得意なことを発揮して頂けるようにしています。職員は利用者様やホームのために自分ができることを考え、力を発揮してくれています。また、地域と積極的に関わり、地域に根ざした事業所を目指しています。
事業所名	小規模多機能ホーム おあしす重久	管理者	石神 圭太郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	2人	1人	2人	1人	1人	2人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価、事業所評価は常勤職員全員で取り組む。	常勤職員全員で取り組むことができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回貴重な時間を使って会議をしているとは思わなかった。ありがたい ・日々スタッフの皆様が色々と考えてやってくれている。 	自己評価・事業所評価にてできていない点が少しでも改善できるように取り組む
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議やその他の機会で見学の場を設け、事業所を見ていただく。 ・整理整頓を心がける 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主サロン活動や運営推進会議時に見学の機会を設けたが、回数として少なかった。 ・整理整頓を日々心がけ、物や書類等が散乱することが少なくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の前は道が狭いからどうしてもないが、門の前に車が停まっていて通れずに迂回したことがある。公用車ではなかった。業者さんかもしれない。 ・来たらお茶を一杯飲んで、血圧を測ってもらったり、脳リハをしたり、体操をしたりと充実している。 ・家内がリハビリ機器の使用により健康になって体調もよくなった。安全面や保険のこととかあると思うが地域の人にも開放したらどうか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①利用者様、ご家族様だけでなく、来客者、業者さんにも元気よく挨拶をする。 ②事業所の前の公道で車が停車することがないように、敷地内のスペースを空けておく
C. 事業所と地域のかかわり	事業所やまちかど介護相談所について、地域の集まりなどで宣伝させていただく。	自治会の総会、地区の夏祭り等で宣伝ができた。また、自主サロン活動を行っており、知名度は上がっていると感じるが、知らない住民も多いとの情報がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は、自治会長によく相談されている。自治会長が事業所を知っていることが大事だと思う。 ・周知の手段として、老人会で介護保険事業所のパンフレット配布を頼まれたことがある。地区の役員会は、4月に引継ぎ会、6月と10月に班長も交えて合同会議がある。そこで事業所の情宣活動ができるかもしれない。 ・職員はみんなよく挨拶をしてくれている。よく迎えてくれている。 	<ol style="list-style-type: none"> ①事業所をより知っていただくために、地域の集まりにて宣伝する。 ②事業所の場所を分かりやすくするためにできることを追求する。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>事業所の広報誌（おあしす便り）や運営推進会議での取り組みの報告は、主に行事のことが中心だったため、日常の様子も知っていただけるように工夫する。</p>	<p>少しでも日常の様子を知っていただけるように、おあしす便りに日常の様子も載せるようにした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な所に連れて行ってもらっている。事業所の中に閉じ込めているということはない ・地域の行事に参加したり、サロン活動など地域のために様々な取組みをされている。 ・おあしす便りも日常がよく分かるように作成されている。 	<ol style="list-style-type: none"> ①おあしす便りは、行事、日常の様子が分かるように作成する。 ②利用者様の住んでいる地域内で一人は協力者を見つける。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会だけでなく、東その山地区の民生委員にも運営推進会議のお声かけを行い、互いに連携を図れるよう関係構築に努める ・地域のお困り事の情報を集め、可能であれば協力させていただく。 	<p>東その山地区の民生委員に参加のお願いを行い参加していただいた。また、郵便局局長の参加もあった。事業所自己評価の中で、スタッフも運営推進会議の内容を知りたいとの声があった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で報告だけでなく地域の情報を引き出したりしている。地域のちょっとした話も聞けるからよい会議になっていると思う。 ・郵便局がお一人暮らしの高齢者の見守りサービスを始めた。運営推進会議でまた案内させていただきたい。民生委員にも知ってほしい。 	<ol style="list-style-type: none"> ①運営推進会議に近隣事業所への参加を呼びかける（目標は保育園、児童関連事業所、グループホーム） ②新たな自治会役員と関係作りに努め事業所を知っていただく。 ③体制を整え、運営推進会議にスタッフも交代で参加し、地域事情を知る。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>事業所の防災訓練に地域の方の参加を呼びかける</p>	<p>年2回防災訓練を行っているが、地域の方の参加はなかった。呼びかけもなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練する所を見たことはないから、する時は声をかけてほしい。 ・とっさの時は忘れてしまうことが多い。事業所でも年2回は防災訓練を行っているとのことだが、日常の中に防災訓練を取りいれれば、もし火災が起きたとしてもより動けるのではないか。 ・避難経路に物は置かない方がいい。 ・9月半ば位に地域の防災訓練がある。ご指導をお願いしたい。 	<ol style="list-style-type: none"> ①地域の防災訓練に参加する ②事業所の防災訓練に地域の方や近隣のご家族等へ参加・協力を呼びかける。 ③避難経路上に障害物をおかないようにする。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社メディコープ	代表者	代表取締役 中道 浩二	法人・事業所の 特徴	「もうひとつのわが家」と思っただけよう利用者様を中心に家庭的な雰囲気作りに努めています。利用者様の得意なことを發揮して頂けるようにしています。職員は利用者様やホームのために自分ができることを考え、力を發揮してくれています。また、地域と積極的に関わり、地域に根ざした事業所を目指しています。
事業所名	小規模多機能ホーム おあしす重久	管理者	石神 圭太郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	2人	1人	2人	1人	1人	2人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価、事業所評価は常勤職員全員で取り組む。	常勤職員全員で取り組むことができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回貴重な時間を使って会議をしているとは思わなかった。ありがたい ・日々スタッフの皆様が色々と考えてやってくれている。 	自己評価・事業所評価にてできていない点が少しでも改善できるように取り組む
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議やその他の機会で見学の場を設け、事業所を見ていただく。 ・整理整頓を心がける 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主サロン活動や運営推進会議時に見学の機会を設けたが、回数として少なかった。 ・整理整頓を日々心がけ、物や書類等が散乱することが少なくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の前は道が狭いからどうしてもないが、門の前に車が停まっていて通れずに迂回したことがある。公用車ではなかった。業者さんかもしれない。 ・来たらお茶を一杯飲んで、血圧を測ってもらったり、脳リハをしたり、体操をしたりと充実している。 ・家内がリハビリ機器の使用により健康になって体調もよくなった。安全面や保険のこととかあると思うが地域の人にも開放したらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者様、ご家族様だけでなく、来客者、業者さんにも元気よく挨拶をする。 ②事業所の前の公道で車が停車することがないように、敷地内のスペースを空けておく
C. 事業所と地域のかかわり	事業所やまちかど介護相談所について、地域の集まりなどで宣伝させていただく。	自治会の総会、地区の夏祭り等で宣伝ができた。また、自主サロン活動を行っており、知名度は上がっていると感じるが、知らない住民も多いとの情報がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は、自治会長によく相談されている。自治会長が事業所を知っていることが大事だと思う。 ・周知の手段として、老人会で介護保険事業所のパンフレット配布を頼まれたことがある。地区の役員会は、4月に引継ぎ会、6月と10月に班長も交えて合同会議がある。そこで事業所の情宣活動ができるかもしれない。 ・職員はみんなよく挨拶をしてくれている。よく迎えてくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①事業所をより知っていただくために、地域の集まりにて宣伝する。 ②事業所の場所を分かりやすくするためにできることを追求する。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>事業所の広報誌（おあしす便り）や運営推進会議での取り組みの報告は、主に行事のことが中心だったため、日常の様子も知っていただけるように工夫する。</p>	<p>少しでも日常の様子を知っていただけるように、おあしす便りに日常の様子も載せるようにした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な所に連れて行ってもらっている。事業所の中に閉じ込めているということはない ・地域の行事に参加したり、サロン活動など地域のために様々な取組みをされている。 ・おあしす便りも日常がよく分かるように作成されている。 	<ol style="list-style-type: none"> ①おあしす便りは、行事、日常の様子が分かるように作成する。 ②利用者様の住んでいる地域内で一人は協力者を見つける。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会だけでなく、東その山地区の民生委員にも運営推進会議のお声かけを行い、互いに連携を図れるよう関係構築に努める ・地域のお困り事の情報を集め、可能であれば協力させていただく。 	<p>東その山地区の民生委員に参加のお願いを行い参加していただいた。また、郵便局局長の参加もあった。事業所自己評価の中で、スタッフも運営推進会議の内容を知りたいとの声があった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で報告だけでなく地域の情報を引き出ししたりしている。地域のちょっとした話も聞けるからよい会議になっていると思う。 ・郵便局がお一人暮らしの高齢者の見守りサービスを始めた。運営推進会議でまた案内させていただきたい。民生委員にも知ってほしい。 	<ol style="list-style-type: none"> ①運営推進会議に近隣事業所への参加を呼びかける（目標は保育園、児童関連事業所、グループホーム） ②新たな自治会役員と関係作りに努め事業所を知っていただく。 ③体制を整え、運営推進会議にスタッフも交代で参加し、地域事情を知る。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>事業所の防災訓練に地域の方の参加を呼びかける</p>	<p>年2回防災訓練を行っているが、地域の方の参加はなかった。呼びかけもなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練する所を見たことはないから、する時は声をかけてほしい。 ・とっさの時は忘れてしまうことが多い。事業所でも年2回は防災訓練を行っているとのことだが、日常の中に防災訓練を取り入れれば、もし火災が起きたとしてもより動けるのではないか。 ・避難経路に物は置かない方がいい。 ・9月半ば位に地域の防災訓練がある。ご指導をお願いしたい。 	<ol style="list-style-type: none"> ①地域の防災訓練に参加する ②事業所の防災訓練に地域の方や近隣のご家族等へ参加・協力を呼びかける。 ③避難経路上に障害物をおかないようにする。